

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)5月8日
所 属 名:大津・南部農産普及課
番 号:A25002
発 信 者 名:富岡



スキマバイトアプリを活用したアルバイトの確保

湖南中央園芸組合では高齢化により労力確保が課題となっていたことから、当課の提案で令和7年4月15日(火)にスキマバイトアプリ説明会を開催されました。アプリを活用して生産者自らアルバイトを募集され、メロンの支柱立て作業を行われました。

草津市北山田地区は、パイプハウスを活用し、ミズナやホウレンソウなどの軟弱野菜を中心に栽培している野菜産地です。かつては2,000棟を超えるパイプハウスがありましたが、高齢化が進み、生産者も徐々に減少しています。

産地の維持・発展を図るため、令和6年度から生産者代表や関係機関と連携し、就農希望者の受け入れ等産地維持に向けた検討を重ねています。既存生産者では、高齢化により昔のように作業を行うことが難しくなっている方が多く、労働力確保が課題となっています。スキマバイトアプリを活用する生産者もおられますが、普及していない状況でしたので、当課からスキマバイトアプリの説明会開催を働きかけ、4月15日に湖南中央園芸組合主催で開催されました。

当日は、メロンの管理作業で多忙な中、4名が出席され、サービス提供事業者からアプリ開発のいきさつや使用方法の説明を受けられました。

早速、1名の生産者がアプリを活用してメロン作業のアルバイトを募集したところ、2時間で募集定員を確保することでき、後日メロンの支柱立て作業をアルバイトとともに行われました。活用された生産者は、今後も農作業の繁忙期に活用したいとのことでした。

当課では、引き続き関係機関と連携し、北山田の野菜産地の維持・発展に向けて支援していきます。



メロン栽培の様子



説明会の様子